

内外のニュース

ケネディ氏と被災高校生が交流 日米の懸け橋に



東日本大震災の被災地の高校生らと記念写真に納まるケネディ駐日米大使(中央)＝13日午後、東京都港区の大使公邸(代表撮影)

東日本大震災の被災地の高校生ら11人がケネディ駐日米大使と交流するイベントが13日、東京都港区の大使公邸で開かれ、生徒らは「日米の懸け橋になりたい」などと夢を語った。

日米の官民が震災からの復興を支援する「トモダチ」プロジェクトの一環。これを通し米国にホームステイした岩手、宮城、福島の高中生らが参加した。

机を囲んで30分ほど懇談。英語での自己紹介では震災で校舎が壊れ、別の学校で勉強したエピソードを披露。

ケネディ大使は「さまざまな人とコミュニケーションを取ることで世界が平和になる」と述べた。

2013年12月14日土曜日